

2025 年 7 月 24 日（金）

厳しい季節を乗り越える

Surviving Tough Seasons

ニューホープ横浜

タブドロ ジェイソン ヘンリー

アロハ、みなさん！再びキャンプ・ファースト・アウトで話す機会をいただき、本当に光栄です。イノウエ・ママとシオコさん、神様の言葉を皆さんと共有する機会をいただき、感謝しています。今年はニューホープ・ヨコハマからメンバーを再び招待しました。この CFO ファミリーに私たちもあたたかく迎えてくださり、ありがとうございます。

みなさんの好きな季節はいつですか？私は間違いなく夏ですが、日本の夏は湿気が多いですね。晴れた青空、長い昼間、夏中タンクトップとショートパンツを着られるなら、完璧に幸せです。しかし、このような素晴らしい夏の条件下でも、台風が来たり、熱中症になったり、不便さや困難が伴います。今年のキャンプのテーマは「何事にも時があり 天の下の出来事にはすべて定められた時がある。」（コヘレトの言葉 3:1 新共同訳）：人生にはすべての物事には時がある。ソロモン王は第三章で、人生にはすべての物事には時があることを示す 14 組の対比を記しています。そして神様はそれらを創造し、管理し、私たちの生活の一部として許されています。もちろん、良い時が続くことを望まない人はいないでしょう。妻のユウコと私は韓国ドラマを見るのが大好きで、今見ている作品は、ソロモン王が伝道者の書で描く季節のサイクルをまさに追っているようです。痛みと空虚の季節もありました

が、喜びと満ち足りた季節もありました！しかし、各エピソードを通じて流れる主なテーマの一つは、季節の変化や、各季節の中で起こる予期せぬ出来事を人はコントロールできないということです。私たちは、満たされた季節も、厳しい季節も経験します。今日は、神様が私に教えてくださった、厳しい季節を生き抜く方法について共有したいと思います。

みなさんは、困難な季節をどう耐え、どう対処しますか？ある人は他者や物事を責め、ある人は痛みやストレスから逃れるために娯楽に逃避します。また、ある人はより多く働いたり、お酒や食事の乱用などに依存するかもしれません。私も以前は物事から逃げたり、特に神様を責めたりしていました。聖書的な方法で困難な時期を生き延びることは、あなたが期待するものと逆行するでしょう。

1) 静まる

「やめよ。わたしこそ神であることを知れ。わたしは国々の間であがめられ、地の上であがめられる。」（詩篇 46:10 新改訳）

詩篇 46 は、エルサレムを敵から守られた神様への賛美の歌です。この節は、行動を止め、静かに座り、主のことばに瞑想するよう指示するものとよく解釈されます。しかし、ヘブライ語の「ラファ」は「静まれ」という意味ですが、実際には「手放す」「努力を止める」「緩める」「放つ」という意味です。これは無為を呼びかけるものではなく、状況を神様の主権に委ねる呼びかけです。手放し、神様に任せることを意味します。私たちの中には、物事がうまくいかない時、すぐに自分の力で直そうとする傾向があります。しかし、非常に厳しい状況に直面すると、私たちの力や資源を超え、無力感に襲われます。神様は私たちにまさにその感覚を味わってほしいと思ってい

るのかもしれませんが！神様はあなたがコントロールしようと握りしめているものを手放し、神様が主権と力を示すことを許すように望んでおられます。この聖句は、静まり、神が神であることを知れと教えています。いま隣の人に「神を知る・Know God」と言ってみてください。神様を知ることとは、神様がコントロールしていることを理解したり、見たりすることです。神様はあなたがおかれている状況を知っています。神様はあなたをその状況から導き出す方法を知っています。神様は、この季節の向こう側に何が起こるかを知っています。私たちはどのようにして静まり、神様が神様であることを知ることができるのでしょうか？

◇ 神さまの前で静まる時間を持つ (Take time to be still before God)

日常の忙しさの中で、こころを静め、電話や気を散らすものを遮断する時間を取りましょう。私は頭をクリアにするために散歩に出かけて神様と過ごす時間を作ったりします。このキャンプは、みなさんにとって気を散らすものから離れて静かに過ごす絶好の機会かもしれません。ゆっくりと瞑想するための聖句を選び、神様があなたに語りかけることばに耳を澄ませてみてください。

◇ 手放す (Let Go)

私たちはよく、状況を自分でコントロールしたいと感じることがあります。そんなときこそ、繰り返し唱える聖句が必要です。「主があなたたちの先頭に立たれる。主はあなたたちと共におられる。主はあなたたちを離れることも、見捨てることもない。恐れてはならない。」（申命記 31:8 新改訳）

私と一緒に繰り返してください。「神様が私の先に進まれる。神様が私とともにおられる。神様は私を見放さず、見捨てない。恐れてはならない。おのいてはならない。」

不安を感じた時は、自分の手や思いを止め、この言葉を繰り返し、神様の言葉があなたに平安をもたらすようにしましょう。

☆ 賛美の声を上げる！（Cry out in Praise！）

詩篇 46:10 は「...わたしは地の上であがめられる」と結ばれています。神様に賛美を捧げる時間を取ってください。困難な時期に神様を賛美することは非常に重要です。天の父があなたより先に行かれるからです。神様はあなたと共にいて、決して離れることも見捨てることもありません。

サブポイントの英語訳は TLC（Tender Loving Care）の頭文字です。ですから、神様の TLC を覚えて、神さまの御前に「静まる」時にも覚えてください。

2) 賛美と感謝を表現する

「いつも主にあって喜ばなさい。もう一度言います。喜ばなさい。…何も思い煩わないで、あらゆる場合に、感謝をもってささげる祈りと願いによって、あなたがたの願い事を神に知っていただきなさい。」（ピリピへの手紙 4:4&6 新改訳）

ここでクイズ！パウロはピリピ人への手紙をどこで書きましたか？

A: 自宅 B: 船の上 C: 牢屋

答えは C：牢屋。パウロはピリピ人への手紙を書いている時、再び牢屋にいました。彼は私たちに、喜びに満ちるべき頻度を教えています。それは常にです。つまり、困難な時期でも神様を賛美すべきです。なぜならパウロは、シラスと共に牢屋にいた時、賛美の歌を歌っていたからです。神様を賛美する場所や時ではないのに、彼らはそうしました。その後何が起こったのでしょうか？神様は地震を起こし、彼らを牢屋から解放しました。再びパウロは牢屋にいましたが、神様を賛美していました。彼は厳しい季節を生き抜く鍵を知っていました。まず私たちの心を静め、次に神様を賛美し、感謝することです！でも待ってください、何のために神様を賛美し、感謝すればいいのでしょうか？私がいるこの季節は私の心を殺しています！息が詰まるほど苦しいです！なぜ喜び、神様を賛美し、起こっていることに感謝すべきなのでしょう？そんな風に思うこともあるでしょう。でも、パウロは「幸せになれ」と言っているのではありません。幸せは人生に起こることに基づいています。そして、私たちの厳しい季節に起こっていることは、幸せをもたらすものではありません。パウロは「神様が助けてくださるから喜びなさい」と言っています！神様は今、あなたの状況に働いています。神様はあなたを成長させ、訓練し、不要なものを排除し、剪定し、破壊して、癒し、再建し、生命、喜び、祝福のための道を拓いているのかもしれませんが。伝道者の書 3 章の 14 の対比が、私たちが通る季節について語っているように、私たちは神様が私たちを困難な季節から導き出してくれることを賛美できます。私たちは神様の導きと慰めに感謝できます。私たちは、イエスさまにある希望のために神様に感謝することができます。もし何も思いつかないなら、申命記 31:6 を思い出してください。「彼はあなたの前を歩み、あなたと共にいます。彼は決してあなたを見捨てたり、見放したりしません！」それだけで、神様を賛美し、感謝するに十分です！アーメン！